

ともに学び合う生徒の育成 ～磨こう!瑞中生の心～

★12月人権週間、全校で人権道德講演会を行いました。

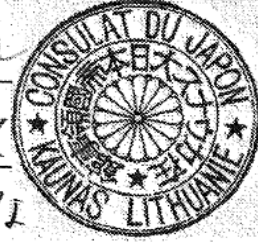
12月3日(月)の道德は、岐阜県八百津町にある杉原千畝記念館館長の國枝大索さんをお迎えして講演会を行いました。講演を聞いて、杉原千畝の決断を通して、世界の中の日本人としての自覚を持ち、他国を尊重し、国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に寄与する大切さに気付き、千畝の生き方を通して学んだことを自分の人生に生かしていこうとする実践的態度を身に付けた生徒に育ててほしいと思います。

杉原千畝の言葉

私は大したことをしたわけではない
当然のことをしただけです。



杉原千畝さんの人としてのあり方についての考え方を聞いて、感動しました。また、そのときの世界の様子を聞いて、杉原千畝さんと同じような考えを持った人が、世界中にいたことも、すごいと思いました。杉原さんが、「あのとき、私でなくても私と同じようなことをしたと思う」と言っていたけれど、ま、と全ての人かそう言った決断をできる人は限らないから、やっぱり杉原さんはすごいと思いました。

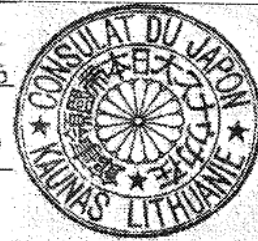


何もしていないのに、やっぱりオタリオタリに殺されて、同じ人間なのに物みだりにあつかわれて、自分や自分の周りの人にき害が加わ。でもビザを書きつづけて、日本人のほこりとも呼べる、素晴らしい人だな。と、とんけいした。



私も、誰かが困っていたら手をさしのべる。すべての人がそれをできた時「平和と呼ぶ」のではないのかな。

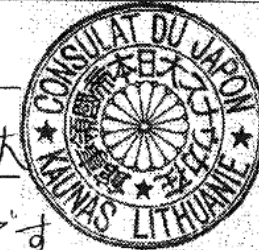
杉原千畝さんの事は、詳しく知らなかったけど、今日のお話を聞いて、6000人ものユダヤ人を救ったと聞いて、すごい人なんだと改めて知りました。VTRの最後の所で杉原千畝さんと、ビザを書いて欲しいと頼んだユダヤ人が再会する所でとても感動しました。私かもし今後杉原千畝さんにあたりたい。大事な決断をする時がある、たら人の道を選べるような人になりたいです。



杉原さんがユダヤ人の人々のことを思い国の命令より自分の信念にしたがったというのがすごかったです。そして、ビザが必要な背景に戦争差別というものがあり戦争が戦争を生むということを感じました。自分の信念にしたがうことは難しいことかもしれませんが、僕も将来人のためになる、人を幸せにできることをしたいです。



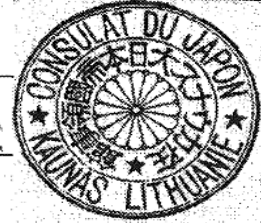
講話を聞かせてもらう前、「杉原千畝」という名前には知っていたけれど、行った事などは全然知りませんでした。しかし、講話を聞いて自分や周りの人に起こるリスクを考えながら6000人もの人々を救ったと知って本当に心が温かいんだ、たんだと思いました。私も今自分にできる最大限の事を人のために尽くせるようになりました。



杉原さんの自分や家族の命をぎせいにしても、ユダヤ人のためにビザを書きつけたことに驚きました。けれど人間として正しい行いをしているところに感心しました。僕も杉原さんのように、人間として正しい、悔いのないように生きていきたいと思いました。



戦争にしても、感動的な事についても担っているのは
いつも一人一人の人間なんだと強く感じました。
人が多く死ぬようなことに、少なからず関係して
しまわぬように、多くを助ける一人になれる
ようになりたいと思います。また、
人の一人としてまわりに何ができるか、
考えていきたいと思いました。



今日は、杉原千畝さんのお話しを知らなかったことまでたくさん聞かせて
いただき自分も人を助けたいなと思いました。杉原さんはいろいろな
人のこともあり、約4000~6000人の人々を助けていましたが、私も1つの判
断で1人でも多くの人を助けられるように意識して行動していきたいで
す。写真やVTRを見て悲愴な現地の姿を見ると
がてさ、これから世界中でこんなことが起こらぬように
自分もできることから考えていきたいなと思いました。



自分や自分の家族が生きていけなくなるかも
しれないのに、6000人の命を助けた杉原
千畝はすごいと思った。また、杉原千畝
に感謝をし、ずっと探しつづけたユダヤ人も
すごいと思った。自分も見返
りを求めず、人を助けたいと思った。



自分の立場を充分に考えた上で、
人として、とるべき行動をとった
というのが、人としてから、こいつ、
尊敬すべきだと思いました。
僕もみならって、杉原さんの
ような、やさしい人に
なりたいと思いました。



ホロコーストの写真を見て、その時代の非惨さがとても伝わった。
また、杉原千叡さんのような素晴らしい偉人が通った学校のあとに建
てられた瑞穂ヶ丘中学校に毎日通えることはとてもありがたいとだ
と。やはり、一人一人の命はとても大切で、これからはい
身近にいる友だちや家族をみんなが大切に
していけばよいと思った。この講話を受けさせて
もらい、日頃学校で学んだり大切な人と交
渉することのありがたさが身にしみました。



杉原千叡さんについて、私は名前くらいしか知りません
でした。でも今日 VTR や 國枝さんのお話をたくさん聞いて
命をかけた人の命をすくった杉原千叡はすごいと思
いました。そして人権とは、人が自由に生まれること
であって、この人権は破られてはいけな
いものだと思えました。やるべきことは、
しっかりと真正面から向き合おうと思えました。



もし自分が杉原千畝の立場だったらあの勇気のある
行動はできるのかと思った。自分の命よりも他の人の命を優先
させることの行動がとてすごいと思った。学校生活でも
相手のことを考えて行動することも小さなことだけど同じ
ことだと思った。



私は、今日の話を聞く前まで、杉原千畝さんの事を全く知らなくて、写真を
見たことある位程度でした。そして今日の話を聞いて分かりました。杉原さんは
家族の事も心配しながらも、ユダヤ人にビザを書き、6000人もの多くの
人を救い、すごいと思いました。私にはそんな勇気はないので、杉原さんも
どうしよう悩んで決めただけなのと思いました。ユダヤ人も
杉原さん書いてもらって、ただもらって終わるだけではなく
もちろん感謝も忘れずに、お守りにして、心に残っていたこと
にも感動しました。この話を聞いて私はこれから、やらずに後悔するのではなく、
やって後悔をしようと思いました。でも後悔ではなく、達成感かもしれないと思いました。



ユダヤ人がいかに長く厳しい道を通ろうとしていたことを知り、驚
きました。ビザの発行にもいろんな手続きがあって、いろんなけ
ががあったのにも関わらず、場所がかわっても許可証を書きつづ
けた勇気と度胸がすごいなと思いました。どなたか人の命に
関わることだろうと、私なら、そんな決断、怖くて
できないと思います。誰かを想ってやった方が、いいと
思ったことを怖れずにできる人になりたいなと思いました。



杉原千畝さんについて、知っていたつもりだったけれど、今日のビデオや話をきいて、よりくわしく知ることができました。

千畝さんのように多くの人々を助けたり、救ったりすることは、難しいかもしれないけれど、私も何か人の役に立つことをしたいと思いました。また、改めて、千畝さんの偉大さに気が付きました。



今日の講話で最も印象に残ったのは、千畝は汽車の中で通行許可証を書き続けたということだ。汽車が出発する時、彼はひどく悔しかつたと思う。

私、難民たちが逃げるのに千畝を助けてなく、イギリスやオランダの領事官たちが関わっていたとは知らなかった。新たな発見だ。

これから、人道・博愛の精神を以て抱いて生きていきたい。



杉原千畝さんについてほとんど知らなかったのでも、

知れてよかったです。

人のために何かをしようとすることは、とてもステキだと感じました。人を助けるためには、一人では、できないので、

たくさんの人と力を合わせなければいけないということを改めて実感しました。



多くの生徒が、杉原千畝の生き方を通して、人権に対する意識を高めるとともに、自らの生き方について考えを深めることができていました。また、戦争の悲惨さや平和についても考えを深めることができました。

講演の中で紹介された言葉が印象的だったのか、生徒の感想文の中に、杉原千畝がロシア語を学んだハルビン学院の校訓「自治三訣～人の世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう～」が書かれたものもありました。この言葉の精神が、杉原千畝の生き方の中に大きく影響を与えていたのかもしれませんが。

さて、来年の4月には、リトアニアからカウナス青少年合唱団ヴァルベリスが来日し、その際本校を訪問します。特別な思いをもって来校されるとのこと。今回の学びや心に残ったことを、忘れずに抱き続け、ヴァルベリスの人々との交流が実りあるものになることを期待しています。

後藤新平の自治三訣

ハルビン学院校訓

